

N
WGN

PRESS INFORMATION 2013.11.20



Hondaは「N」シリーズで 「新しいよろこび」を生み出し続けます



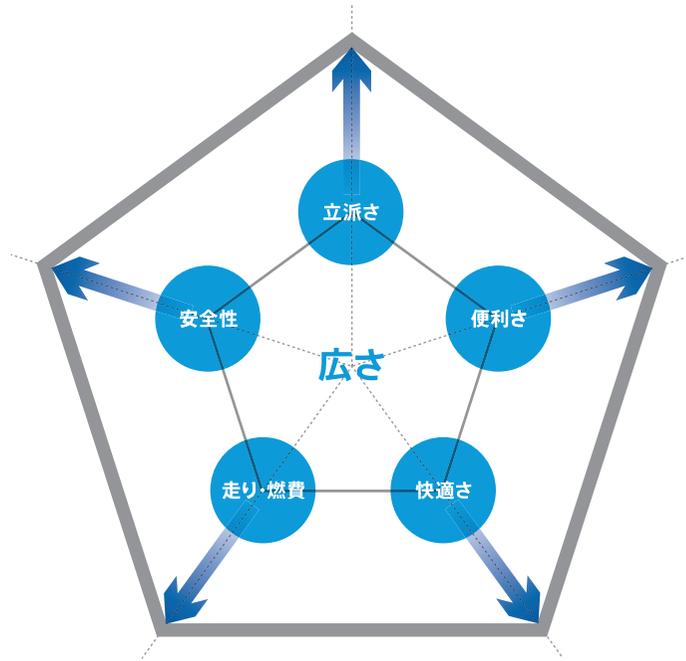
日本の人や、暮らしをとことん見つめ、「軽」という存在を革新するクルマ。
それが「N」シリーズです。スペースを革新した「N BOX」「N BOX+」を皮切りに、
プレミアムな質感を追求した「N-ONE」など、次々に「N」シリーズのラインアップを拡充してきました。
今回、第四弾として送り出す「N-WGN」が目指したのは、
そんな「N」シリーズの中において「新しいベーシック」となる存在。
「N」に求められるものを、全て、しかも高い次元で備えたクルマを目指しました。
Hondaは、これからもこの「N」シリーズの世界をさらに拡充させ、新しいよろこびを
生み出し続けていきたいと考えています。ぜひご期待ください。

CONTENTS

開発責任者から	03
プロダクトダイジェスト	04
・いちばん立派な軽自動車をつくりたい	05
・街も遠出も快適な軽自動車をつくりたい	07
・小さくても便利な軽自動車をつくりたい	09
・燃費も走りもいい軽自動車をつくりたい	11
・小さくても安全な軽自動車をつくりたい	13
テクノロジー詳細	15
主要装備・主要諸元・環境情報	31

NEW NEXT NIPPON NORIMONO

お客様の求めるものをつくるのは当たり前。 大切なのは、それよりもう一步先



N-WGN 開発責任者
人見 康平(ひとみ こうへい)
(株)本田技術研究所 主任研究員

1984年、(株)本田技術研究所 入社。ドア、外装まわりの設計を経て、02年ザッツ、04年エリシオンのLPL代行などを歴任。07年フィット、10年フィット ハイブリッド、11年フィット シャトルに続いて今回、N-WGNのLPLを務める。愛車は2台のフィットと、NSX。

「一人でも多くのお客様に喜んでいただける自動車をつくりたい」その思いが、今回の「N-WGN」を開発するにあたって、私を、そしてスタッフたちを突き動かす原動力になりました。自動車の開発に携わる者として、完成したクルマが街を走り、お乗りの方に喜んでいただいている様子を見るのは何にも代えがたいよるこび。そうしたシーンにひとつでも多く出会いたかったのです。

だからこそ、お客様が軽自動車に求めるものを、「全て持っているクルマ」をつくらうと考えました。燃費が良く、広々とした室内と荷室があり、遠くへ行きたくなるような快適さと、所有の喜びを満たす立派さを持ち、毎日安心して乗ることのできる安全性を持つこと。すなわち、「欲張りなクルマ」を目指しました。

——しかし、それだけでは私たちは満足しません。大切なのは、もう一步先です。

「お客様が求めるもの」をつくるにとどまらず、全てをランクアップさせ、本当に「良いもの」を、軽自動車の新しいベーシックとして送り出し、お客様の想像を超えるよるこびを提供することに力を尽くしました。お客様以上に、私たちは「欲張り」なのです。

高い目標を追い続ける開発には困難も伴いましたが、開発、生産、Hondaのあらゆる分野のスタッフたちの熱い想いで、「一人でも多くのお客様に喜んでいただける」軽自動車をつくり上げることができたと確信しています。

私たちは、 ちょっと「おせっかい」な 開発者です

私たちは、ちょっと「おせっかい」な開発者だと思っています。
 お客様が「快適なクルマが欲しい」とお望みなら、
 「全席ファーストクラス」を目指して
 快適さをつくり出す。「燃費のいいクルマが欲しい」と
 お望みなら、そこに「走りのよさ」もプラスする。
 これは、Hondaのこだわり……
 むしろ、意地のようなものです。
 「カッコいいクルマが欲しい」と聞けば、
 「軽自動車」の枠組みを超えた立派さを提案します。
 誰だって「便利なクルマが欲しい」に決まっています。
 でも、Hondaはその気持ちの何倍も上を行きたい。
 「安全なクルマ」をリクエストされたら、お客様が気づかない
 ようなところまでこだわって、高い安全性を追求します。
 ——そんな数々の「おせっかい」を、Hondaの持つ技でかたちにし、
 完成したクルマ。それがN-WGNなのです。



N-WGNは、開発から生産までを一貫して鈴鹿製作所で行う取り組み
 「鈴鹿・軽・イノベーション(SKI)」から誕生しました。

Hondaの
「おせっかい」
その1

いちばん立派な軽自動車をつくりたい

文句なしの格好良さと立派さを。



「軽自動車なのに」なんて前置きは一切なし、「文句なしに格好いい」

「文句なしに立派だ」と思っていただけのクルマを目指しました。

私たちが試みたのは、大きなクルマをギュッと縮めて

ミニチュアをつくるのではなく、小さいクルマであるという前提に立ち、

大きなクルマとは異なる方法でかたちをつくっていくということ。

この徹底したこだわりによって、限られたサイズの中でも存在感と本物感、

しっかり守ってくれる安心感を表現しました。

「大きいクルマよりも、小さいクルマが好き!」とお考えの方にもうなずいていただける、

「文句なしの格好良さと立派さ」を、ぜひご覧になってみてください。

立派な
クルマが欲しい!

どんなクルマが隣に来ても 負けない格好良さを。

大きくて立派で、格好いいクルマは、世の中にはたくさんあります。例えば、N-WGNが何台も買えるような外国車とか……。でも、そんなクルマの隣に並んでも、文句なく「格好いい」と思えるようなデザインをしました。ご満足いただける自信があります。

ただ広いだけじゃない! 立派な質感で満足してもらいたい。

室内が広くて便利なクルマは、今やたくさんあります。私たちがこだわったのは、「いいクルマを買ったなあ」と、にんまりできる立派な「かたち」や「質感」。きっと、乗れば乗るほどにこのクルマを好きになってもらえると思います。



堂々として上質な エクステリアデザイン

がっちりとして厚みがあり、安心感のあるフロントビュー、伸びやかなサイドビュー、ワイドで安定感のあるリアビュー。どれも「大きいクルマのミニチュア」ではなく、「小さいクルマを立派に見せる」というHondaのデザインテクノロジーがあるからこそできるものです!

詳細は
P.15



立派さと両立させた 高い空力性能

バンパーの形状、ルーフの形状、空力パーツの配置等、デザイナーと空力エンジニアががっちりタッグを組み、「格好良さ」と「空力性能」を高次元で両立。これだけの立派なスタイリングでありながら、空気抵抗をぎりぎりまで低減しています。

詳細は
P.23



質感にこだわったインテリア

造形とともに、インテリアの「素材」にもこだわって、高い質感を追求しました。特に「Custom」では、吟味に吟味を重ねたシートやパネルの素材で、これまでに無い上質な空間を実現しています。

詳細は
P.17

Hondaの
「おせっかい」
その2

街も遠出も快適な軽自動車をつくりたい

目指すは「全席ファーストクラス」の快適さ。

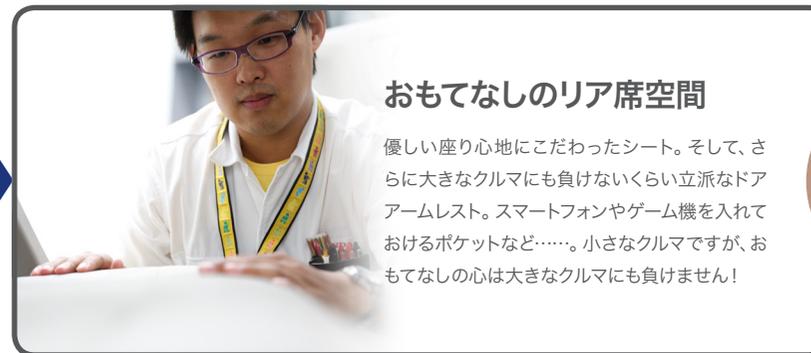
どのくらいまでやりきれば、胸を張って
「快適な軽自動車」と言えるだろう？
私たちが真っ先に思い浮かべたのは飛行機の
ファーストクラスでした。座り心地がいいのは
もちろん、大人が足を組めるスペースが広がり、
手を伸ばした先には、ボトルホルダーがある……。
エコノミークラスとは違う、レベルの高い快適さ。
この理想を胸に、「大人4人がくつろぎながら移動できるクルマ」を
かたちにしていきました。もちろん、「機長席」である運転席も特等席です。
運転のしやすさ、走りの楽しさにとことんこだわり、
ハンドルを握るのが楽しみになるドライバビリティを追求しました。



快適な
クルマが欲しい!

「後ろに乗りたくなる軽」なんて
これまで無かったでしょ?

「乗る人全員が快適なクルマです」と胸を張って言えるクルマ
にしたかったんです。座り心地のいいシートはもちろん、ドア
にはこれまでに無いくらい立派なアームレストを装備。そし
て便利な収納。運転が好きな私でも「運転は任せて後ろに座
りたい」と思える出来になったと思います!



おもてなしのリア席空間

優しい座り心地にこだわったシート。そして、さ
らに大きなクルマにも負けないくらい立派なドア
アームレスト。スマートフォンやゲーム機を入れて
おけるポケットなど……。小さなクルマですが、お
もてなしの心は大きなクルマにも負けません!

詳細は
P.17

「たまには高速道路」?
そんなの、もったいない!

「普段は街中で、たまには高速道路で」
軽自動車は、そういう使い方が多いと聞きました。
でも、楽しいこと、やってみたいことがいつでも「近場」にあ
るとは限りませんよね。毎週でも高速道路で遠出したくなる
快適さがあれば、もっと週末が楽しくなると思うのです。



シーンを選ばず 乗り心地と操縦安定性を 両立させたシャシー性能

サスペンションは、低速から高速まで、あらゆる
シーンで乗り心地と操縦安定性を両立させられ
るセッティングを施しました。また、新しい制御
を採り入れたパワーステアリングは、高速道路も
安心のしっかり感をもたらします。

詳細は
P.25



高速道路での 快適性をアップさせる クルーズコントロール

高速道路で、アクセルを踏まなくても一定の速度
を保ってくれる「クルーズコントロール」も用意し
ました。乗り心地も、走りも、まったく妥協せず「高
速道路に乗りたくなる軽」に仕上げたからこそ
の、自信の証です。

詳細は
P.29

Hondaの
「おせっかい」
その3

小さくても便利な軽自動車をつくりたい
今まで無かったところに「空間」を。

ご存じの通り、軽自動車というものは、
決められた寸法の中でつくらなくてはならない乗り物です。
この制約の中で、想像を超える使い勝手を
実現するためのカギは「空間のつくり方」にあります。
他の軽自動車には無い場所に便利な収納を設けたり、
家族が4人乗った上で、ちゃんとベビーカーや、4人ぶんの荷物を
積み込めるだけのスペースを確保したり……。
「本当に使える広さ」。
ちょっと真似のできないものに仕上がったと自信を持っています。



便利な
クルマが欲しい!

ちゃんと4人ぶんの 荷物が積めますか?

4人が乗ったら、当然4人の荷物も一緒に乗るわけです。フロントシートとくっつくくらい、リアシートを前に動かして「まあ、一応、4人ぶんの荷物も載りました!」じゃあ、本当に「4人ぶんの荷物が積めた」ことにはならない、と私は思いますね。

その傘、邪魔ですよ。 入れる場所つくっておきました。

傘、どこにしまっていますか?私は、リアシートの床の上に転がしてきました。そんな「置き場所に困るアイテム」って、けっこうあるんですよ。
ずっと「どうにかできればいいのに……」と思っていたので、私たちがつくっておきました!



居住空間とラゲッジスペースを 両立させるパッケージング

Honda独自のセンタータンクレイアウトをはじめ、メカニズムを徹底的にコンパクト化するHondaの設計思想により、リアシートを一番前までスライドさせて荷室を拡大しても、リアシートに大人が2人座れるスペースを確保!「大人4人ぶんの荷物」もちゃんと積めます!

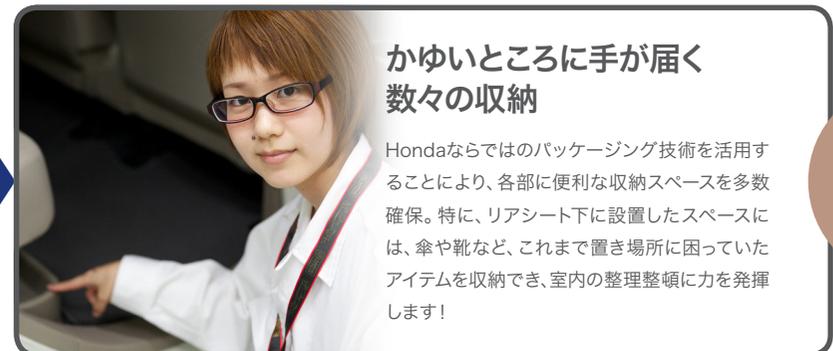
詳細は
P.19



ベビーカーをすっきり収納 良好な視界も確保

ラゲッジスペースにあるフタを持ち上げると、深い床下収納が現れます!これを使えば、リアシートを一番後ろまでスライドさせても、後方視界を遮らずにベビーカーを立てて積載可能です!

詳細は
P.19



かゆいところに手が届く 数々の収納

Hondaならではのパッケージング技術を活用することにより、各部に便利な収納スペースを多数確保。特に、リアシート下に設置したスペースには、傘や靴など、これまで置き場所に困っていたアイテムを収納でき、室内の整理整頓に力を発揮します!

詳細は
P.19

Hondaの
「おせっかい」
その4

燃費も走りもいい軽自動車をつくりたい

その方が乗っていて絶対楽しいから。

軽自動車は、生活に密着した存在。燃費の良さが求められています。しかし、私たちはそうしたリクエストに応えるにとどまらず、日常の「走り」を気持ちよくこなすことのできる力強さも徹底的に追求しました。定評ある「N」シリーズの走りを受け継ぎながら、その走りをさらに低燃費で叶えることに力を尽くし、日常のシーンを気持ちよく、快適に走ることのできるクルマに上げています。

さらに、ターボエンジンならここにさらなるパワフルさをプラス。「自分には『走り』なんて関係ないよ」という方も、一度お乗りになれば違いに気づいていただけるはずだと思っています。



燃費も走りもいい
クルマが欲しい!

Hondaの軽史上、いちばんぜいたくな エンジンにしちゃいました。

他のエンジニアから「本当に軽自動車に使うの!？」と驚かれるようなパーツも、惜しげも無く投入しました。なぜって？我々の考える「燃費も良くてパワフルなエンジン」はここまでやって、初めて実現できるんです!



さらに進化させたエンジン

地道な改良を施すのはもちろんのこと、レースの現場で培われた技術を活かした「ナトリウム封入バルブ」や、「ツインポートインジェクション」などの新しいメカニズムを投入。「エンジンのHonda」の技が光ります!

詳細は
P.20

「走り出すとき」の スムーズさが重要です!

アイドリングストップシステムは燃費性能をアップさせるのに有効な技術。でも、実は「走り出すとき」のほうが、腕の見せ所なんです。アクセルを踏んだらすぐに目覚め、思った通りに加速できる。お乗りになれば、きっと違いがおわかりいただけると思います。



完成度を高めたCVT

アイドリングストップからの復帰時に、すばやい発進を可能にする新システムを開発。燃料消費を低減させた上で、運転のしやすさにこだわりました!

詳細は
P.22

Hondaの
「おせっかい」
その5

小さくても安全な軽自動車をつくりたい

「プロ」として安全性能を提案します。

「安全性能の大切さ」と聞いて

「どのくらい大事なことなんだろう」と、

ピンと来ないのはとてもいいことです。

けれど、危険は誰にでも、突然に訪れる可能性のあるものです。

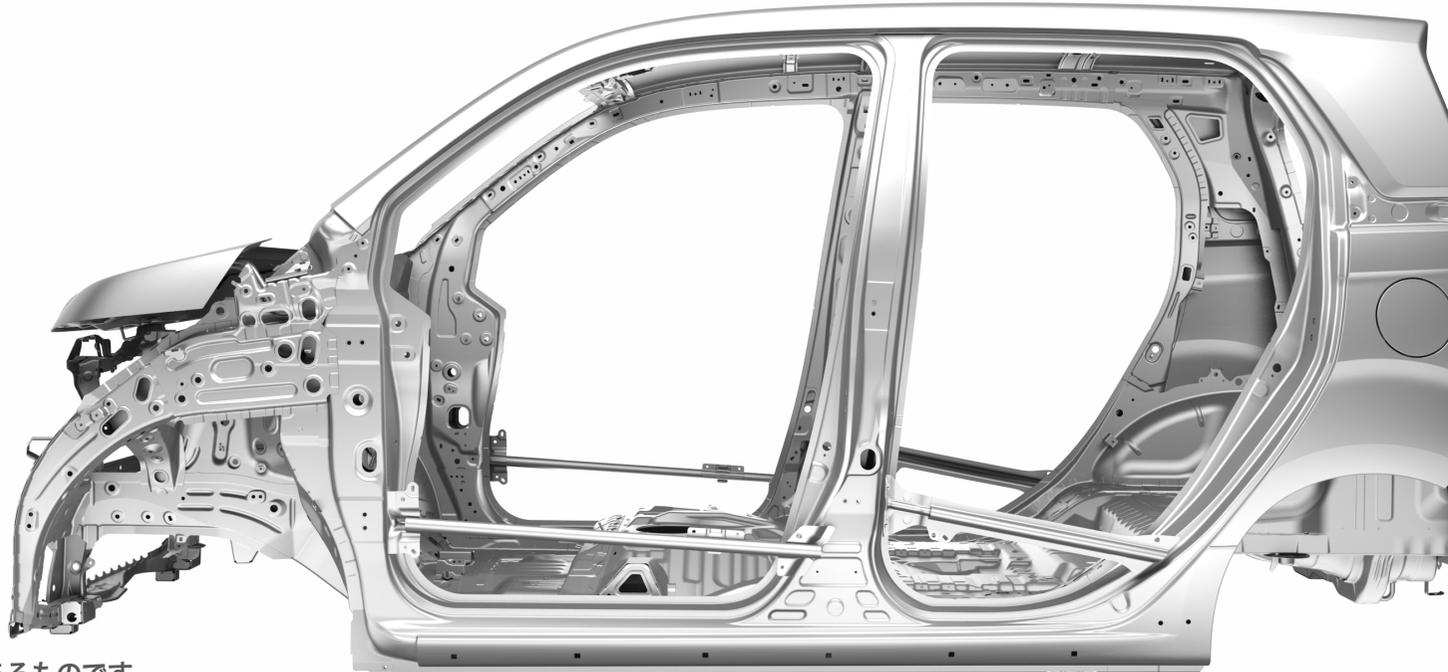
私たちは、そんな「誰もが、もしかしたら出くわすかもしれない危険」に備えて、

万全の安全性能をN-WGNに盛り込みました。

「危険に近づかない」こと、「危険を避けやすくする」こと、「万一の際にしっかり守る」こと。

この考え方を基本とし、法規はもちろんのことHonda独自の厳しい基準もクリアさせて、

「プロの考える安全」をしっかり盛り込んだクルマが、N-WGNなのです。



安全な クルマが欲しい!

「小さいから不安」なんて
思わせたくない。

クルマは小さくても、万一のときの安全性は大きいクルマと
変わらないものを。その難しい課題に全力で取り組みまし
た。しっかりとした衝突安全ボディ、充実したエアバッグが、
万一のとき、しっかり保護性能を発揮します!



万一の際にしっかり備える
衝突安全ボディ&
エアバッグ

Honda独自の厳しい独自基準もクリアさせた衝
突安全ボディ、充実した6つのエアバッグ(あんし
んパッケージ装備車に標準装備)、歩行者傷害
軽減ボディ等で、万一の衝突時に備えます。

詳細は
P.27

「全天候で安全」な
クルマでなくては。

クルマは昼も夜も、晴れの日も雨の日も走るものです。だから、「全天候で安全なクルマ」を目指すのは、私たちにとって
当たり前のことです。
いつでも安心してドライブをお楽しみいただけます!



先進の安全装備で
危険を避けやすく

レーザーを照射して前走車を検知し、衝突の回避・
軽減を図る「シティブレーキアクティブシステム」
は、雨天時にも効果を発揮できるように、ワイパー
の払拭範囲内に設置。標準装備のVSAは、全タ
イプで専用のセッティングを施し、雪道など滑り
やすい道での運転のしやすさを向上させました。

詳細は
P.26

「シートベルトをしなくて
いい席」は、ないから。

リアシートでもシートベルトをしなくてはいけないというこ
とをご存知でない方は、まだまだたくさんいます。だから、運転席
の人がそれをきちんと知らせてあげてほしいのです。
後席シートベルト締め忘れ警告灯は、そんな気持ちから用意
しました。



後席の人への思いやりを
かたちに

後席のシートベルトが未装着のときに点灯する
後席シートベルト締め忘れ警告灯を、ルームミ
ラーに装備。リアシートの乗員にもシートベルト
の装着を促すことができます!

詳細は
P.27

「安心感」「本物感」「存在感」の追求

「N-WGN」は、本物感と上質感のある「プライド・オーセンティック・デザイン」を、「N-WGN Custom」は、「アバンギャルド・エモーション」をテーマにデザイン。乗ることに誇りを持つ立派さ、本物感、上質感があり、見た目からも安心感を得られるアピランスを追求しました。

立派さと安心感をかたちにしたフロントビュー

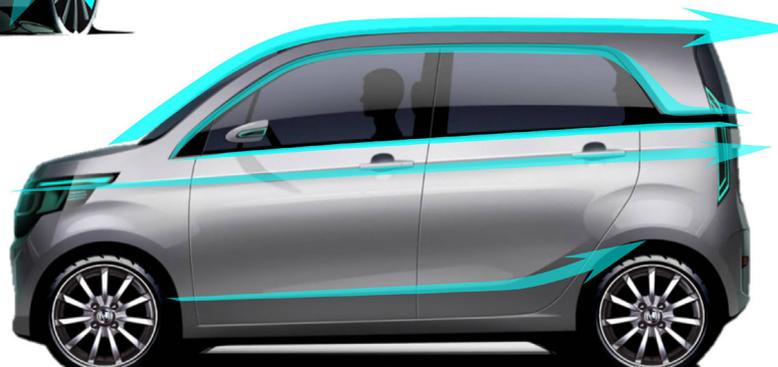
フロントビューは、ノーズの厚みを強調させることで、立派さとともに、がっちりと守られる安心感を表現しています。さらに、ヘッドライトやグリルなどのパーツを、できる限り大きく見せつつ、それらをばらばらにではなく、融合させた構成にすることで、ワイドで大きく感じられるスタイリングとしました。



■ N-WGN フロントビュー

広さと伸びやかさを感じさせるサイドビュー

積極的な水平基調を感じさせることで、前後方向に長く、伸びやかに見えるスタイリングを追求しました。また、限られた寸法の中ででありながら、折り返しを巧みに利用することで、ドアフェンダーの豊かな張りを表現し、質の高い走りを感じさせるデザインを行いました。サイドのキャラクターラインは、Hondaの最新のプレス技術を活用し、3Rという小さなRで構成。これにより、くっきりとした陰影を生み出し、ディテールの質感を高めています。



■ N-WGN サイドビュー

堂々としたたずまいのリアビュー

リアビューを構成するパーツをできるだけ「多く見せる」「外に広げる」「上に広げる」ことで、実際のサイズよりも堂々とした印象のデザインを行いました。ナンバープレートは、リアビューの中央となるテールゲートに設置。よりワイドに見える、充実した後ろ姿をかたちづくりしました。



■ N-WGN リアビュー

強い押し出しと上質なたたずまいを両立させた、Customのエクステリア

「Custom」のテーマは「アバンギャルド・エモーション」。上に外に広がる構成と精緻な仕立てで、強い押し出しと上質なたたずまいを両立させるスタイリングを追求しました。導光タイプのLEDを用いたアクセサリライトや、リアコ

ンビネーションランプも、上に外に広がる個性的なライティングとすることで、夜間も堂々とした品格を主張。また、先鋭的で躍動感あるグラフィックの専用アルミホイールもオプション設定しました(タイプ別メーカーオプション)。

全11色、幅広いお客様にマッチする、多彩なボディカラー

N-WGNには落ち着いた色合いや、高い質感を感じさせるディープな色合いの有彩色を幅広くラインアップする一方、N-WGN Customでは、

先鋭的な印象をさらに際立たせる、力強い印象の専用色を設定しました。



■ N-WGN ボディカラーバリエーション



■ N-WGN Custom ボディカラーバリエーション



■ N-WGN Custom リアビュー



■ N-WGN Custom フロントビュー



■ N-WGN Custom
ヘッドライト点灯イメージ



■ N-WGN Custom
リアコンビネーションランプ点灯イメージ

本物の質感と、広さ・快適性を実現する

「N-WGN」は「プライド・オーセンティック・コンフォート」を、「N-WGN Custom」は「アバンギャルド・エモーション」をテーマにデザイン。造形、素材にこだわり、Hondaの上級車種とも共通する確かな質感と、実際の寸法を超えた「広さ感」を持った、上質で爽快感のある室内空間に仕上げました。

立派さと広さ感を追求したインストルメントパネル

インストルメントパネル全体の造形は、安心感をもたらす適度なボリューム感と豊かな面質、そしてキャラクターラインの巧みなコントロールにより、実際のサイズを超えた立派さと広さを感じられる造形としました。また、センターパネルからメーターに続くワイドなドライバー

パネルと、シルバーの大きなエアコンパネルで運転席まわりを充実した印象に仕上げています。カラーリングは、アッパー部分をブラックに、インテリア全体を明るいベージュにすることでしっかりと上質、かつ、開放的でクリーンな雰囲気としました。

見やすく質感の高いインターフェイス

N-WGNのメーターは真円であることにこだわって、最大限大きくするようにデザインしました。その脇には横方向にインフォメーション、同心円上にエコインジケータを配置し、立体造形を利用して情報を見やすく整理。質感が高く、直感的に認識しやすいメーターとしました。

また、メーカーオプションの7インチワイドディスプレイオーディオは、センターパネルから画面が浮かび上がるようなソリッドなデザインとし、それをアウトレットで取り囲むようにデザインすることでパネルとの一体感を持たせ、ワイドな印象をより強調しています。

おもてなしのシートとリア席空間

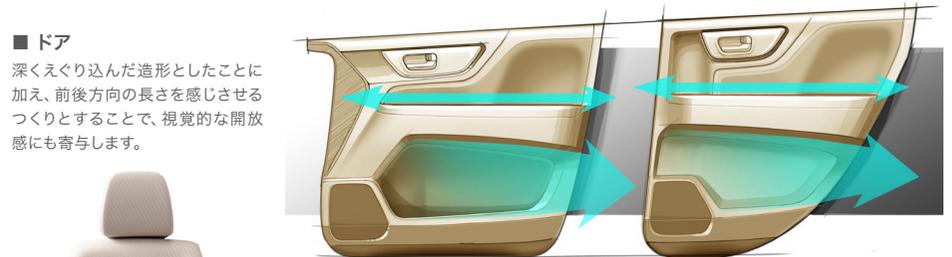
四隅をしっかりと強調した造形とすることで、大きく立派に見える上に、疲れにくいシートとしました。さらに肌触りの良さにこだわって表皮も吟味しています。

リア席空間は、これまでに無いくつろぎと、おも

てなしの空間とするべく、上質な座り心地を追求したシートに加え、ドアには上級車種にも匹敵する、たっぷりとしたサイズのドアアームレストを装備。手を伸ばせばちょうど届く位置にボトルホルダーも備え、快適性を高めています。



■ N-WGN インストルメントパネル デザインイメージ



■ ドア

深くえぐり込んだ造形としたことに加え、前後方向の長さを感じさせるつくりとすることで、視覚的な開放感にも寄与します。



■ シート

四隅をしっかりと強調した造形とし、大きく立派に見えて、しかも疲れにくいシートとしました。

■ ドアアームレスト

上級車種にも匹敵する大型サイズのアームレストに、リア席にはボトルホルダーを装備しました。



■ N-WGN メーターデザイン



■ ディスプレイオーディオ

華やかな主張に先鋭さを加えたCustomのインテリア

N-WGN Customでは、「アバンギャルド・エモーション」をテーマに、華やかな主張に先鋭さを加えたインテリアを追求しました。室内はブラックとバーガンディの2トーンでコーディネート。落ち着いた中にもしっかり主張のある、大人の空間としています。

クオリティインテリアのインストルメントパネルと

ドアオーナメントパネルには、これまでに無いグロスブラックの深み、上質感のある、「レイヤードクリアパネル」と、上品なメッキ加飾をコーディネートさせて採用。シートは、プライムスムーズ&ジャージコンビシートの採用により、より一層のプレミアム感をつくりだしています。



Photo:N-WGN Custom G-tourerパッケージ

■ N-WGN Custom インストルメントパネル

メーター、オーディオなどの文字部分を白にして視認性を向上させつつ、ドリンクホルダー、センタートレイ等の主要な機能部分にパイオレットの照明を、フットライトにも同じくパイオレットの間接光を配置。先鋭的な印象でコーディネートします。

■ レイヤードクリアパネル

インストルメントパネルとドアオーナメントパネルには「レイヤードクリアパネル」を採用。ブラックとクリアの樹脂を二層構造にすることで、これまでにないグロスブラックの深みと、上質感を生み出します。



クリアの樹脂

ブラックの樹脂



■ プライムスムーズ&ジャージコンビシート

クオリティインテリアでは、本革の質感と、本革以上のお手入れのしやすさを兼ね備えるプライムスムーズを用いたコンビシートを採用。バーガンディの内装とコーディネートしたダブルステッチで質感高く仕上げました。



primesmooth



■ Custom専用メーターデザイン

N-WGN Customでは、三眼のメーターを採用。盤面のスピンドル加工や、立体感のある目盛りなどにより、緻密な印象を与える造形としました。



最大限の居住空間と最大限の荷室を両立する

Honda独自のパッケージング技術により、大人4人が快適に過ごすことのできる居住性と、優れた積載性を高い次元で両立させました。

センタータンクレイアウトにより優れた使い勝手を実現するシートアレンジ

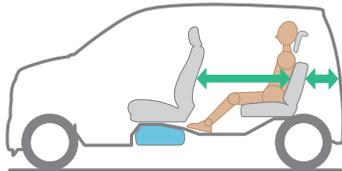
「N」シリーズとして初めて、前後に200mmのスライド幅を持たせたリアシートスライド機構を採用。シチュエーションに応じてリア空間を自在にアレンジできるようにしました。

リアシートを最大限後方まで下げた状態では、大人が足を組むことができる広大なタンデムディスタンスを持つ後席スペースを生み出しながらも、荷室側はHonda独自のセンタータンク

レイアウトで実現した290mmもの深さを持つアンダーボックスを活用することで十分な積載量を確保。ベビーカーなどの高さがある物を収納した際にも良好な後方視界を保ちます。

一方、リアシートを最大限に前方へ出し、ラゲッジスペースを最大にした状態でも、大人4人が快適に過ごすことのできるリア席空間を確保。優れた使い勝手を実現しています。

■ 後席スペース最大時



■ 上下で分けられる収納

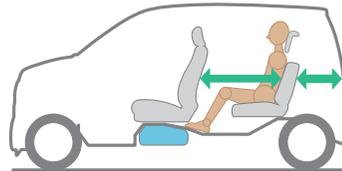
使用頻度の低いものを収められる

■ 縦に深い収納

A型ベビーカーが立てて入る



■ ラゲッジスペース最大時



■ 広がる収納

大人4人分のキャリーバッグを収納

■ 最大荷室

いざという時の最大荷室



常に「人」と「荷物」のスペースを両立

至れり尽くせりの豊富な収納

傘のような長尺物や靴など、これまで収納場所に困ったアイテムをリアシート下へスマートに収納できるリアシートアンダートレイをはじめ、

ユーザー目線に立ったこれまでに無いユーティリティを、車内の各部に多数設けました。



■ スライドセンタートレイ

普段は収納したまま小物入れとすることができ、引き出せばトレイとして使えるものとなりました。

■ センターボックス

スマートフォンや音楽プレイヤーの充電ケーブルを接続したままスマートに収納できるものとなりました。

※ボックスの形状は、量産仕様と一部異なります。



■ リアシートアンダートレイ

リアシート下に、リアシートアンダートレイを設置。傘などの長尺物や靴をシート下に収納できるようにしました。リアドアを開けてすぐに見えるワイドな形状にし、かつ、シートスライド位置を問わず使いやすいようにデザインしました。



■ シートバックアッパーポケット

フロントのシートバックに、中身が見えるメッシュ素材のポケットを装備。スマートフォンや携帯ゲーム機などを収納できるようにしました。

低燃費は当たり前。力強さと運転しやすさを追求

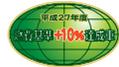
優れた燃費性能、走行性能、スペース効率といった、「N」シリーズの魅力の源であるエンジンをさらに熟成。「全面刷新」と呼べるレベルで各部をリファインし、より一層完成度を高めました。



G(FE/4WD)、G-Aパッケージ(FE/4WD)、G-ターボパッケージ(FE)

「平成27年度燃費基準+20%達成車」表示マーク

平成27年度燃費基準を20%以上上回るすぐれた燃費性能を達成した車両に与えられます。



G-ターボパッケージ(4WD)、N-WGN Custom G-ターボパッケージ(FE)の15インチアルミホイール装着車

「平成27年度燃費基準+10%達成車」表示マーク

平成27年度燃費基準を10%以上上回るすぐれた燃費性能を達成した車両に与えられます。



全タイプ

「平成17年排出ガス基準75%低減レベル」認定車表示マーク

平成17年排出ガス規制のNMHC、NOxについて、基準値を75%以上下回る優秀な環境性能を達成した車両に与えられます。



Photo : NAエンジン

EARTH DREAMS TECHNOLOGY

NAエンジン

最高出力 43kW[58PS]/7,300rpm

最大トルク 65N・m[6.6kgf・m]/4,700rpm

JCO8モード走行燃料消費率 (国土交通省審査値)

29.2km/L (N-WGN G (FE)、G-Aパッケージ (FE))

ターボエンジン

最高出力 47kW[64PS]/6,000rpm

最大トルク 104N・m[10.6kgf・m]/2,600rpm

JCO8モード走行燃料消費率 (国土交通省審査値)

26.0km/L (N-WGN G-ターボパッケージ (FE))

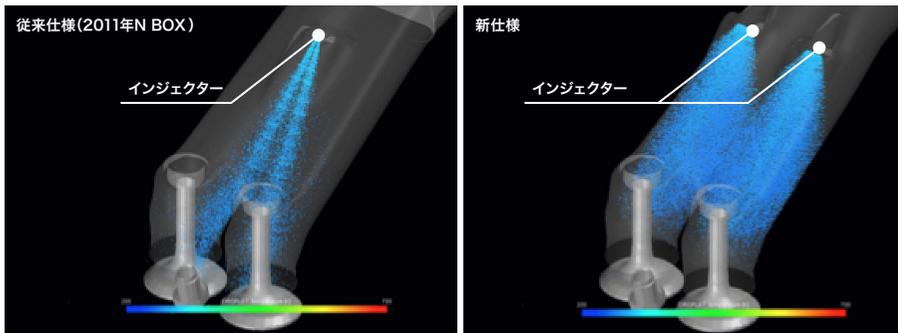
■燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。■JCO8モード走行(国土交通省審査値)は10-15モード走行に比べ、より実際の走行に近くなるよう新たに設けられた試験方法で、一般的に燃料消費率はやや低い値になります。

優れた燃焼効率を実現するツインインジェクションシステム

Hondaの軽自動車として初めて、1気筒あたり2つのインジェクターを装着したツインインジェクションシステムを採用しました。1本あたりの噴射量を少なくすることで、燃料の霧化を促進。

燃料と空気をより均一に混合させて、燃焼状態を改善し、優れたドライバビリティと、低燃費を実現しました。

■ ツインインジェクションシステム 効果説明図



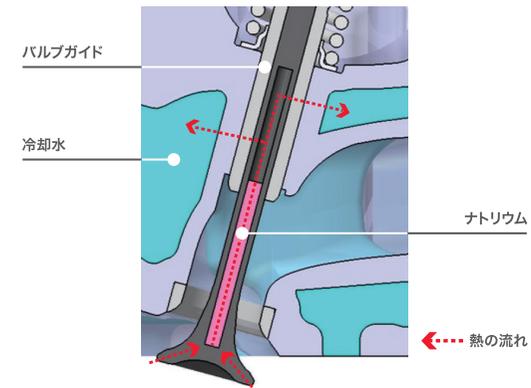
従来仕様と比較して、ツインインジェクションシステムは噴射した燃料が微粒化。混合気分布も均一化されました。

ノッキングの抑制に効果を発揮するナトリウム封入バルブ

11.8という高圧縮比に伴うノッキングの発生を防止するため、Hondaの乗用車用エンジンとして初めて、「ナトリウム封入バルブ」を採用しました。中空にしたバルブの内部に封入したナトリウムが傘部分→軸部分→バルブガイドへ

と速やかに熱を伝え、冷却水へ効果的に放熱。燃焼ガスや排気ガスに曝されて高温になりやすい排気バルブ近傍の温度を下げ、ノッキングの発生を抑制します。

■ ナトリウム封入バルブ説明図

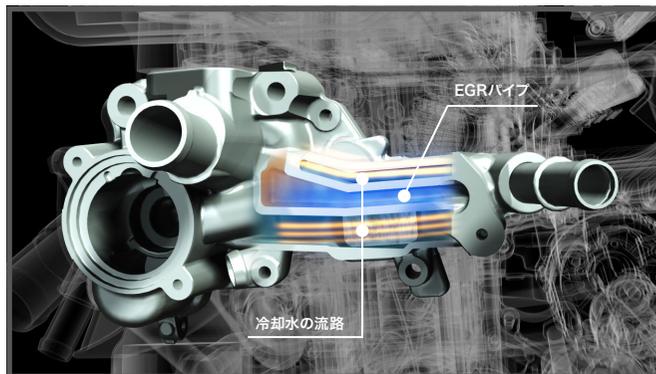


軽量・省スペースでさらなる効果を実現する新EGRシステム

燃焼済みガスを吸気の一部として再循環させ、排気ガス中のNOx低減と、ポンピングロスの低減に貢献するEGRシステムでは、より大量の燃焼済みガスを還流させることが可能な新システムを採用しました。新システムでは、EGRパイプをウォーターパッセージ内に配置した上で、

クーラントの流路と広く接触させることで、燃焼済みガスを冷却。広く用いられる手法であるEGRクーラーを不要として軽量・省スペースを実現しながら、最大限の効果を得られるシステムとしました。

■ 新EGRシステム説明図



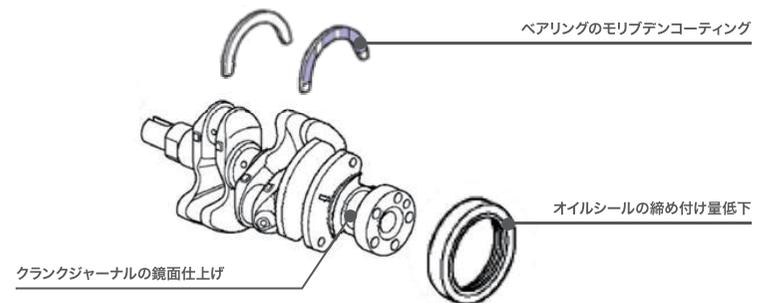
冷却水の流路とEGRパイプの接触面積を増やすことで効果的に燃焼済みガスを冷却します。

燃費性能向上に寄与するフリクションの低減

燃費性能に直結する、エンジン内部のフリクションを徹底的に低減しました。動弁系では、カムチェーンの背面にRを付けることで、カムチェーンテンショナーとの接触面積を減少させ、摺動抵抗を低減。クランクまわりでは、クラ

ンク両端のオイルシールの改良により、十分なシール性能を満足させながら、締め付け量を低下。ベアリングにもモリブデンコートを実施。さらに、ジャーナルを鏡面仕上げとし、摩擦抵抗を低減させました。

■ クランクまわりフリクション低減説明図



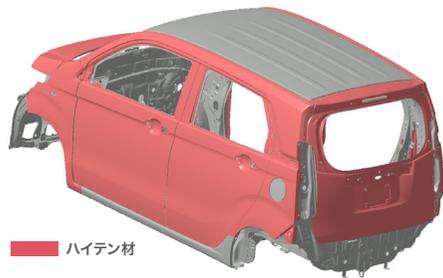
広くする。しかし軽く、空力も良くする

「N」シリーズとして培ってきた技術をさらに発展させることで軽量・高剛性、かつ空力特性にも優れたボディを実現。さらに、会話の弾む室内空間のために、静粛性も徹底して追求しました。

走行性能と燃費性能を高める軽量・高剛性化

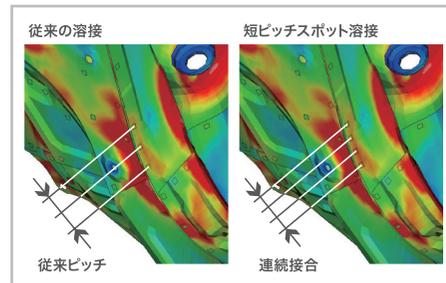
N BOX、N-ONEで確立したインナーフレーム高効率継ぎ手骨格を採用。テールードブランク製法による軽量・高強度サイドパネル、高強度スティフナーは、ホットスタンプに加え、従来よりも高強度な1180MPa級のハイテン材を用いることで軽量・高剛性化をさらに推し進めました。これに加えてN-WGNでは、外板に引っ張り強

度340MPa級の部材を用いる軽量外板の他、従来に比べて強固に接合することができる短ピッチスポット結合による高効率接合を「N」シリーズとして初採用。軽量化に寄与させています。これらの技術により、従来手法を用いる場合と比較して15%もの軽量化を達成しました。



■ 軽量外板適用説明図

外板部品の大部分にハイテン材を使用することで軽量化を実現しました。



■ 短ピッチスポット溶接説明図

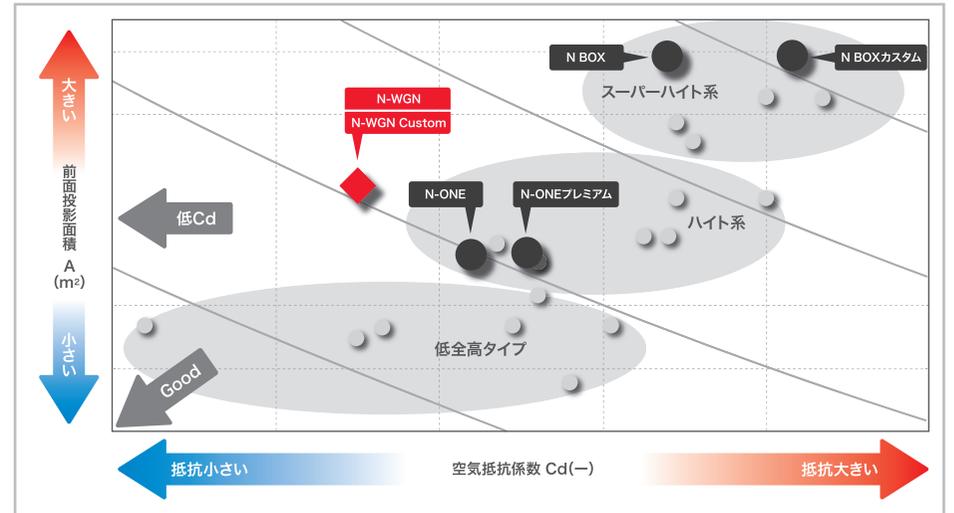
テールゲート開口部分の結合効率を従来よりも向上させることで、板厚を下げる事が可能となり、軽量化を実現しました。

低全高タイプ同等の空力性能

全高が高く、前面投影面積の大きなハイトワゴン形状でありながら、空力パーツの効果的な配置、ボディ各部のデザイン処理等によりCd値

を低減し、空気抵抗を低全高タイプ同等に抑えました。

■ 空力性能比較図



■ 空力特性説明図



ルーフ上部の空気の流れを乱さない形状とすることで、空気抵抗を低減しました。



フロントピラーとフロントウィンドウの段差をスムーズにしたほか、ビードを追加して整流し、空気抵抗を低減しました。



風を剥離させないバンパー形状、床下の流速を増幅させるスポイラーにより空気抵抗を低減しました。

優れた快適性を実現する、高い静粛性

街中から高速道路まで、快適に過ごせる静粛性を追求し、細部にわたって騒音、振動の緻密なコントロールを行いました。従来の「N」シリーズではホイールハウスに設置されていたエアアウトレットの位置をテールゲート付近へ移設

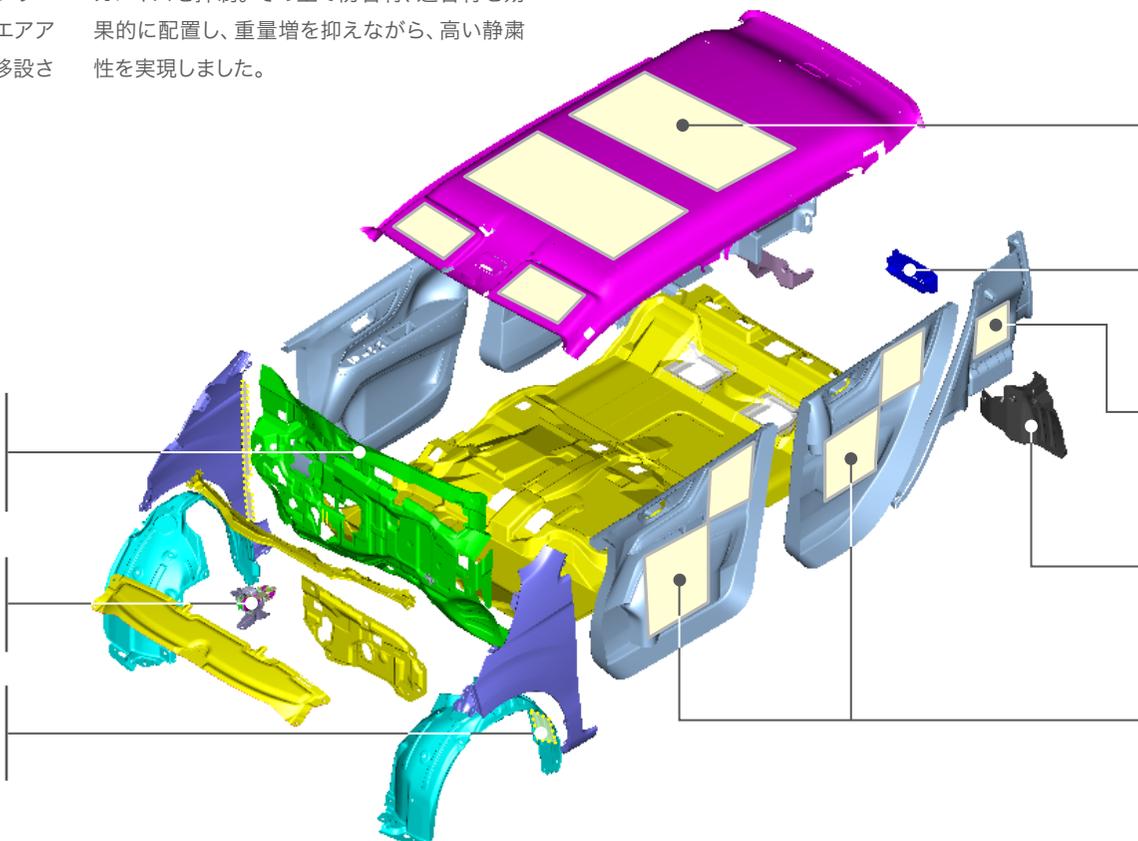
せたほか、エンジンマウントも最適化させるなど、発生源により近い位置でロードノイズやメカノイズを抑制。その上で防音材、遮音材を効果的に配置し、重量増を抑えながら、高い静粛性を実現しました。

■ 防音材配置説明図

ダッシュボードインシュレーター
位置によって密度を変えた防音材を使用することで効果的に吸音・遮音を行い、重量を抑えつつ、加速時の騒音を効果的に抑制。

エンジンマウント伝達特性変更
エンジンマウントの伝達特性を変更して、加速時の騒音を抑制。

フロントインナーフェンダーインシュレーター
フロントインナーフェンダーに防音材を使用して、ロードノイズを低減。



ルーライニングインシュレーター (Custom専用)
ルーライニングに防音材を追加して、クルーズ時の静粛性を向上。

エアアウトレットを移設
エアアウトレットをタイヤから遠い位置に設置することで、クルーズ時のロードノイズを低減。

リアサイドライニングインシュレーター (Custom専用)
リアサイドライニングに防音材を使用することで、静粛性を向上。

リアインナーフェンダー
リアのホイールハウスにインナーフェンダーを追加することでクルーズ時のロードノイズを低減。

ドアライニングインシュレーター (Custom専用)
前後ドアに防音材を使用することで、静粛性を向上。

さまざまなシーンで乗り心地と運動性能を両立

市街地から高速道路、ワインディングまで、あらゆるシーンで、全ての人が快適な移動を楽しむことができるよう乗り心地と運動性能を高い次元で両立させることを目指しました。

高い走りの質感を実現するサスペンション

サスペンションは、フロントサスペンションを新開発し、乗り心地と操縦安定性の両立、ロール角のコントロールなどにより走りの質感を向

上。加えて、装着タイヤやエンジンの違い等、全てのタイプに専用のセッティングを施しています。

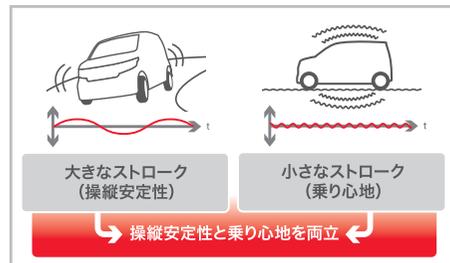
◆ 乗り心地と操縦安定性の両立

ダンパーには、低フリクションピストンリングを採用することで作動性を向上させ、路面からの小さな振動もしっかり吸収。ダンパーロッドを支持するロッドガイドは、テフロンリングを追加した上で、締めしるを縮小。これにより、ダンパーの減衰力を最適化でき、小さなストロークが連続する場面での乗り心地を向上させながらも、コーナリング時など大きなストロークの際にはしっかりと踏ん張るセッティングとすることが可能になりました。

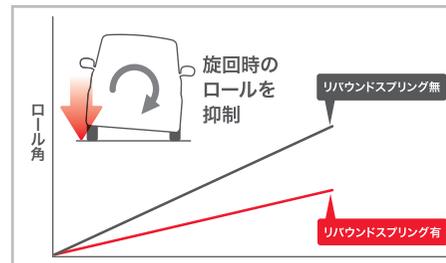
◆ ロール角のコントロール

ダンパー内部にリバウンド側で作動するスプリングを内蔵したリバウンドスプリング付きダンパーを採用。スタビライザーに近い機能をダンパーに持たせてロール角とロールスピードをコントロールすることでステアリング操作に対してリニアに車体がロールしていく、質感の高いハンドリングを実現しています。

■ テフロンリングのメリット



■ リバウンドスプリングのメリット



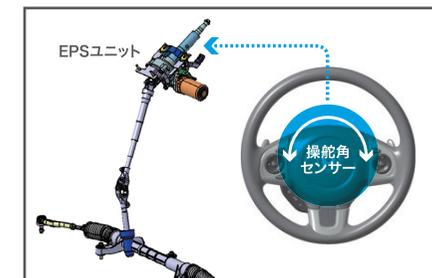
軽快感と安定感を両立させた電動パワーステアリング

電動パワーステアリングには、市街地から高速道路まで走行シーンを問わず、常に快適で安心して運転を楽しめるよう、新たな制御を採用入れています。

設定としながらも、高速走行時の高い直進安定性との両立を実現しています。

■ 電動パワーステアリング新制御

これは全タイプに標準装備したVSA(P.26参照)に使用するステアリング舵角センサーの情報を利用した高精度な制御で、交差点、Uターンなどでのハンドルの戻りやすさや、高速走行時のハンドル中立付近でのしっかり感も制御できます。これらにより、市街地走行における軽快なハンドリングに寄与するクイックなレシオ

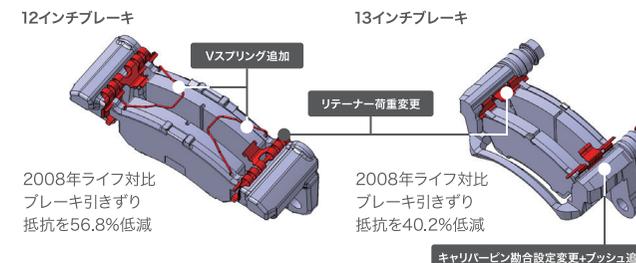


引きずり抵抗を低減して燃費向上に寄与するブレーキ

通常、ブレーキパッドは走行中も常にブレーキディスクとわずかに接触しており、これが走行抵抗となって燃費を悪化させることがあります。

これに対し、N-WGNではブレーキ性能を維持しながら、走行時の引きずり抵抗が少ないブレーキを採用しました。

■ 低引きずり抵抗 ブレーキキャリパー説明図



高い安全性を、妥協なく追求

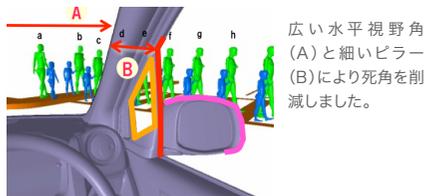
視界の良さを追求して危険を未然に防ぐのはもちろん、標準装備のVSA、ヒルスタートアシスト機能により運転の安心をプラス。万一の際には充実したエアバッグなどにより、しっかりと乗員へのダメージを軽減します。

「危険に近づかないようにする」ための良好な視界を追求

細いフロントピラーとサッシュ、低いドアミラー、大きな三角窓により斜め前方の死角を削減。良好な視界を確保しました。また、「ナビ装着用スペシャルパッケージ」装着車は、後退時、自動的に画面がカメラ映像に切り替わり、パツ

ク駐車時の安心感を高めるリアワイドカメラも装備。メーカーオプションのディスプレイオーディオでは、ハンドル操作に連動して目安となる後退方向を示すダイナミックガイドラインも表示し、さらなる快適性を提供します。

■ フロントピラー視界 説明図



■ リアワイドカメラ



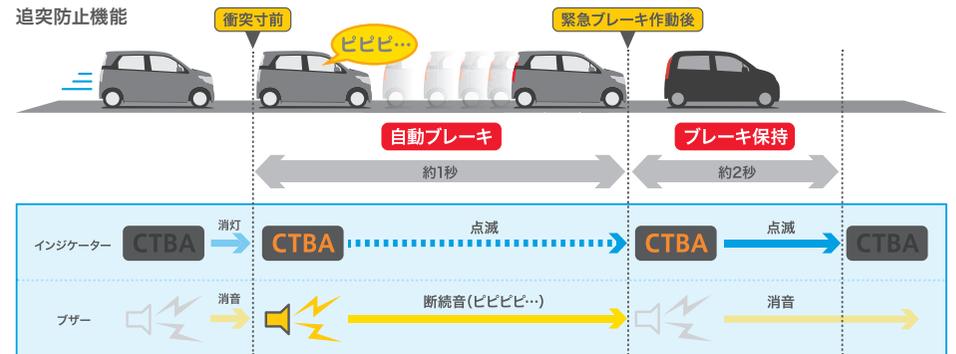
シフトノブを[R]に入れると、ガイド付きのカメラ画像を表示。後方確認のしやすさを高めます。

「危険を避けやすくする」ための先進技術

横滑りなどクルマの急激な挙動変化を抑制する「VSA」を全タイプに標準装備。その上で、N-WGNとN-WGN Custom、FFと4WD、14インチタイヤ、15インチタイヤ等、全てのグレードで専用セッティングを施すことで、VSAが作動するシーンでの運転のしやすさを徹底して高めました。加えて、この「VSA」のメカニズムを活用した「ヒルスタートアシスト機能」も、全タイプに標準装備。坂道発進時の後退を防止します。

また、市街地走行など、時速30km/h以内の低速域における追突事故の危険をドライバーに知らせ、自動ブレーキで追突回避・被害軽減を行う「シティブレーキアクティブシステム」をタイプ別で搭載。前方に車両等の障害物があるにもかかわらずアクセルペダルが踏み込まれた場合、音と表示によって作動を知らせるとともにエンジン出力を制御する、誤発進防止機能も実現しています。

■ シティブレーキアクティブシステム 作動イメージ



誤発進防止機能



■ シティブレーキアクティブシステム レーザーレーダー

前走車を検知するためのレーザーレーダーは、フロントウインドウ内側、ワイパー払拭エリア内に設置することで、悪天候時にも正常作動します。



万の際にしっかり備えるエアバッグ&ボディ

「N」シリーズにおいて採用してきた新設計エンジンと、新荷重分散構造のコンパティビリティ対応ボディ、各部の歩行者傷害軽減構造により、万の際にダメージを軽減するための、高い衝

突安全性を追求。乗員へのダメージを和らげる6つのエアバッグ、頸部衝撃緩和フロントシートなど安全装備も充実させています。



6つのエアバッグ(G・Aパッケージ以上、及び「あんしんパッケージ」装備車に標準装備)

① 運転席用i-SRSエアバッグシステム
(連続容量変化タイプ)

縫製と排気弁を工夫して、「早く・長く・優しく」膨らみ、様々な体格や衝突状況に優れた効果を発揮。

② 前席用i-サイドエアバッグシステム
(容量変化タイプ)

迅速に展開する高圧部と乗員に接する低圧部の二重構造として乗員への加害性を低減。

③ サイドカーテンエアバッグシステム

面積が広く、厚みがあるエアバッグを素早く展開し、側面からの衝撃を効果的に吸収します。

後席ロードリミッター付
ELRベルト

前席のみならず後席にもロードリミッター付ELRベルトを装備しました。シートベルトに一定以上の荷重がかかるとベルトを少し送り出し、胸などへの負担を軽減します。

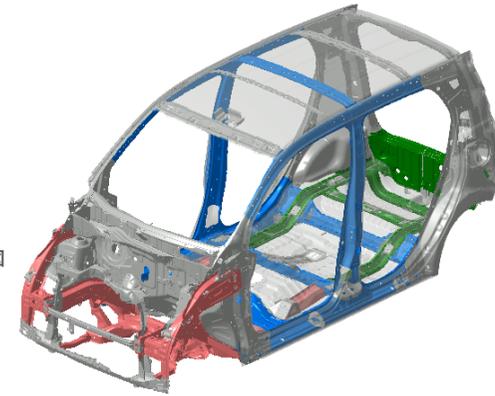


後席シートベルト締め忘れ
警告灯

後席シートベルト締め忘れ警告灯は、後席からも見やすいルームミラー上部に備えています。



■ 衝突安全ボディ説明図



正面衝突主要骨格

コンパティビリティ対応骨格により、ロアメンバーで相手車両とのすれ違いを防止し、衝突時の衝撃をメインフレームとアッパーフレームで吸収。「N」シリーズはアンダーロードパスとワーブラントロードパスにより高いエネルギー吸収効率を実現しています。



前面フラットバリア
55km/h、前面オフセット
デフォーマブルバリア
64km/hでの衝突で、生存
空間を確保

側面衝突主要骨格

荷重をセンターピラーで受け止め、ルーフサイドレール、サイドシルから分散。ルーフアーチ、クロスメンバーでエネルギーを吸収します。「N」シリーズはアウトバーネル下部の高ハイテン材化、サイドシルの高強度化を行い、車体変形の低減を実現しています。



側面ムービングバリア
55km/h、側面ボール
29km/hでの衝突で生存
空間を確保

後面衝突主要骨格

リアパネルとクロスメンバーにより、両方のリアフレームに荷重を伝達させ、効率よくエネルギーを吸収。「N」シリーズは衝撃をリアフレームとサイドシルの双方に分散させる構造を採ることで、車体変形を低減し生存空間の確保を実現しています。



後面ムービングバリア50km/hでの衝突で
生存空間を確保

※社内テストによる撮影

■ 歩行者傷害軽減ボディ

- ・衝撃吸収バンパー
- ・ボンネットヒンジ部衝撃吸収構造
- ・衝撃吸収ワイパーピボット
- ・衝撃吸収フェンダー
- ・フロントウィンドウ支持部衝撃吸収構造
- ・衝撃吸収ヘッドライト
- ・衝撃吸収ボンネット



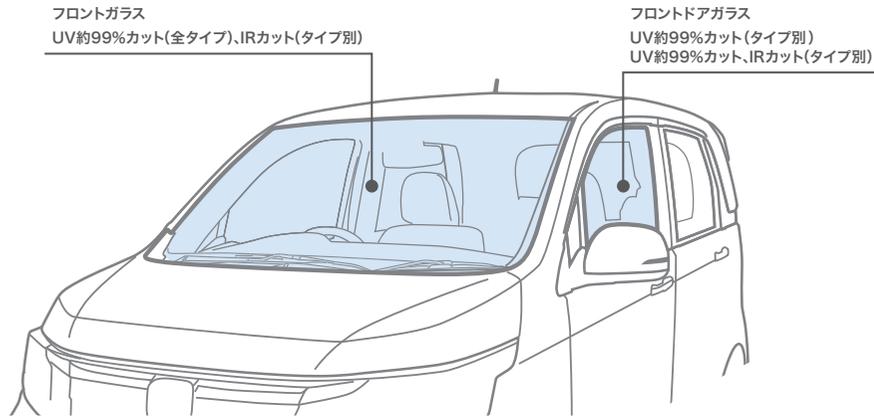
クラスを超えた快適装備を惜しみなく採用

UV・IRカットガラスや、スマートフォン感覚の操作を可能にするディスプレイオーディオなど、クラスを超えた快適装備を惜しみなく採用しました。

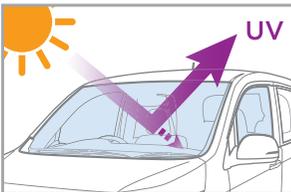
日焼けや暑さを抑制するUVカット・IRカットガラス

N-WGNは、全てのタイプにおいて、窓全面にUVカット機能付ガラスを標準装備しています。さらに「Custom」では、フロントドアウィンドウにスーパーUVカットガラスを採用することで、前面の3面で紫外線(UV)約99%カットを実現しました。これに加えて、「ジリジリ感」の原因となり、室

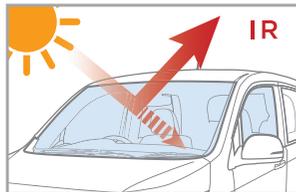
内温度を向上させる赤外線をカットするIRカット機能付ガラスを、Custom G・Aパッケージ、Custom G・ターボパッケージの、フロントウィンドウとフロントドアウィンドウに装備。アームカバーを装着しなくても、快適なドライブを可能にします。



日焼けの原因、紫外線(UV)をほぼカット



肌に感じる暑さの原因、赤外線(IR)も軽減



■ スーパーUVカットガラス効果説明図

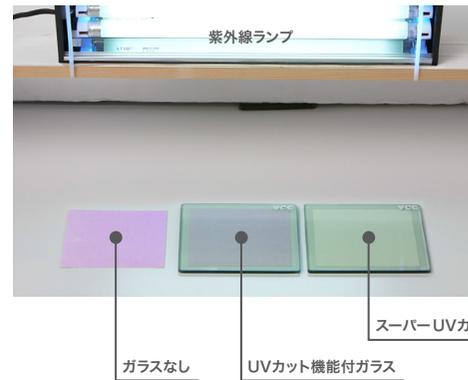
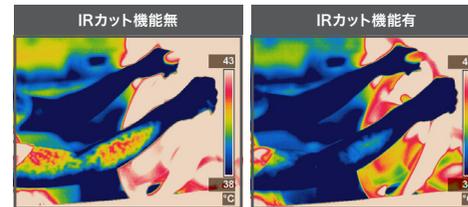


写真:旭硝子株式会社提供

紫外線に当たると赤く反応するUVチェッカーに約20cmの位置から約2分間、紫外線を照射。スーパーUVカットガラスの下では、UVチェッカーの色がほとんど変化しません。

■ IRカット機能付ガラス効果説明図



サーモグラフィにより、皮膚表面の温度を測定。IRカット機能が無い状態では約41°Cまで上昇したのに対し、IRカット機能がある状態では、約39°Cに抑えられています。
写真:旭硝子株式会社提供

スマートフォンを車内でフル活用できるディスプレイオーディオ

スマートフォンを接続して、対応のナビアプリや音楽アプリを使用したり、オーディオ機能やハンズフリーテレフォンの機能が活用できる「ディスプレイオーディオ」は、7インチの大画面でスマートフォン感覚の操作ができるものとなりました。後方確認時、ハンドル操作に連動して目安となる後退方向を表示するダイナミックガイドラインにより、駐車場等での利便性も向上させます。



■ スマートフォンとの連携

- ピンチ、フリック等画面上でもスマートフォン感覚の操作が可能
- ナビアプリ「internavi POCKET」や対応の音楽アプリ等、iPhone®アプリと連携し、ディスプレイオーディオからの操作が可能
- USB接続やBluetooth®による無線接続での音楽再生や、ハンズフリーテレフォンにも対応。HDMI®/USB接続による映像再生が可能
- USB端子を2つ装備。充電をしながら音楽再生などが可能

■ 3モードダイナミックリアカメライメージ図



ハンドル操作に連動して、目安となる後退方向を表示するダイナミックガイドラインを採用。カメラ視界範囲を左右に広げ、後退時のより広い後方視界を提供します。

■ ステアリングスイッチ説明図



スマートフォンの操作にも対応したオーディオリモートコントロールスイッチ



内蔵アレイマイクとの組み合わせにより、ステアリングスイッチからハンズフリーテレフォン機能及びiPhone®の「Siri®アイズフリー」が使用可能

いつでも快適な室内空間を実現する先進機能

シート表皮に付着したダニ、スギ花粉などのアレルギー物質を、それぞれ98%、97%不活性化するアレルクリーンシート表皮を採用*。さらに、抗アレルギー剤を染みこませたエアコンフィルターにより、いつでも快適なドライブを楽しめるようにしました。

エアコンには、空気浄化、脱臭などの機能を持

つプラズマクラスター技術を搭載(タイプ別設定)。アレルギー原因物質やカビなどを分解・除去するほか、シート表皮などに付いたニオイを分解し、車内を快適に保ちます。

*Honda社内実車テスト値。プライムスムース部分は除きます。

■ アレルクリーンシート表皮



■ プラズマクラスター技術搭載フルオート・エアコンディショナー



※本商品にはシャープ株式会社のプラズマクラスター技術を搭載しています。プラズマクラスターマーク及びプラズマクラスター、Plasmaclusterはシャープ株式会社の商標です。
※エアコンもしくは送風に連動して作動します。

高速走行をより快適なものにするクルーズコントロール

スイッチ操作で一定速度に走行を制御するクルーズコントロールをタイプ別で設定。高速道

路などでの運転をより快適にし、さらに低燃費にも貢献します。

乗り降りが快適な助手席回転シート車もラインアップ

「移動の喜びを一人ひとりに」—Hondaは、人間尊重の基本理念のもとに福祉車両、販売店についても幅広い取り組みを進めています。

「N」シリーズにおいては、N BOX+車いす仕様車が昨年の発売以来多くのお客様にご好評いただいております。

今回のN-WGNには、乗り降りが快適な助手席回転シート車を設定(2014年1月発売予定)、これからもより多くのお客様に移動の喜びを提案してまいります。

乗り降りが快適な助手席回転シート車

車いすを利用するほどではない方、足腰が弱ってきた方など、クルマの乗り降りに負担を感じるような、身体が少し不自由な方におすすめの

助手席回転シート車をラインアップしました。67°のシート回転角度、69°のドア開口角度で、ラクな姿勢での乗り降りを可能にしました。



